

■2015年12月27日(日)16時～19時 持ち込みのみ

☆2016年1月8日(金)9時～11時 眉ペンシルの使い方 シャペロンうかいまりさん

■1月8日(金)11時～, 19時～ ボランティアスタッフ説明会

■1月9日(土)11時～11日(月・祝)19時

持ち込み持ち帰り自由, Repair Table(修理台)オープン

☆1月9日(土)11時～ 接着剤の使い方 繕いのうつわ工房小石原剛さん

☆13時～ 小刀の使い方 糸操り人形劇団みのむし 阪東亜矢子さん

☆1月10日(日)11時～ ミシンの使い方 STUA NEEDLE WORK 渡邊知栄さん

☆13時～ テスターの使い方 ひのでやエコライフ研究所 電気工事士 山見拓さん

☆1月11日(月)11時～ 直角定規の使い方 ランチ!設計舎

☆13時～ 珈琲の淹れ方 喫茶文九 森山聡さん

■1月12日(火)～15時 持ち帰りのみ



成果—多様な参加者によりモノはダイナミックに循環し、修理してでも使いたいという気に

●男性の参加者 のべ約500名が参加

通常, こういったイベントの参加者は, 女性が多いのが常だが, 今回は, 高齢の方から若い方まで男性も多く参加した。「道具」をテーマにしたことで, これまでにみない文字通りの老若男女が集うイベントになった。多様な参加者により, 誰かにとって要らないものが, 別の誰かに「必要」としてもらわれていくという循環が見事に成立し, 最終日, モノはほとんどなくなった。

●コミュニケーションを促す仕掛け

「黙って置いていけない」「黙って持って帰れない」代わりに, ここでは, 「道具のひとつひとつにメッセージを書いてね」「ほしい道具があれば, 周りの誰かに伝えて, いいね! など同意されたらもらえるよ」というルールがある。参加者は, 「何かよいものないかな～」と探しながらも, ひとつひとつに付けられたメッセージを読むことを楽しんでいた。また, 「周りの誰かに伝える」場面で, 会話が続き, 笑いが起こり, 友達ができていくような様子もあり, 毎日通う近所の方も多くいた。

●修理スペース

今回, 修理スペースとして, 様々な接着剤を常備し, 自由に使えるようにした。また, 常に, 修理好きの人たちが道具を修理し



たり、研いだりする音が聞こえていた。これらの環境に触発され、多少汚れているものも、「キレイにして使ってみる」という声や、壊れているものに対し、果敢に修繕を試みる姿があった。2R の精神が電波しているようだった。

●道具の使い方ワークショップ

子どもから 80 代の高齢者まで、多様な参加者が共に学んだ。新たな技術や知恵が習得できる喜びのほかにも、お互いに褒めたり、刺激されたりと、とても価値ある時間や体験だったようだ。



室町地域ごみ減量推進会議

【代表者】 会長 織田英夫

【主な活動地域】 京都市上京区室町学区

【設立の目的】

ごみを減らすには、行政主導ではなく、市民・事業者・行政の三者の協力によるごみ減量の取り組みが必要であると、室町学区でも、地域ごみ減量推進会議を発足した。使用済みてんぷら油回収活動を主たる目的として設立したが、そのほかのごみ減量に関わるあらゆる取組みを遂行するために団体として活動している。

【主な活動内容】

- 様々な拠点での使用済みてんぷら油の回収
- 児童館の児童を対象にした環境学習会の実施
- 女性会と共同で施設見学会などの実施
- ふれあいまつりなどで臨時資源物の回収
- 大学生ボランティアの協力による環境啓発ゲームの開催
- 室町小学校で菜の花を苗から育て、菜種をしぼって油を取り出し、油の貴重さを体験し、使用済みの油をリサイクルすることを学ぶ「菜の花プロジェクト」の実施